

(別記様式3)

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和7年度分)

施設名	金山総合公園	所管課	県土整備部都市整備課
指定管理者名	山梅・ケービックスグループ	指定期間	5 年
利用料金制	☐ 導入 ☒ 一部導入 ☐ なし		R4.4.1 ~ R9.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	群馬県太田市長手町480
指定管理業務内容	・公園施設の維持管理業務 ・公園利用者へのサービス提供・利用指導業務 ・公園施設の受付及び案内に関する業務 ・公園利用禁止・制限に関する業務 ・有料公園施設の利用許可に関する業務

2 職員の状況(令和7年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	48 人	
短時間雇用の職員:	2 人	合計: 50 人

※公表時には、(うち障害者 人)を削除しま

3 収支の状況(令和7年度決算額) (円)

収 入		支 出	
指定管理料	123,541,000	人件費	87,589,284
利用料収入	41,128,850	維持管理費	33,349,543
その他(雑収入)	6,073,583	事務費	15,492,184
自主事業収入	13,700,010	修繕費	7,669,678
物価高騰対策支援金	1,960,000	その他	26,236,464
		自主事業費	13,000,567
収入合計	186,403,443	支出合計	183,337,720

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和7年度(実績)	(参考)令和6年度(実績)	(参考)令和5年度(実績)
①年間利用者数(人)	436,388	453,345	474,510
②使用料収入(円) (県納付額)	0	0	0
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	41,128,850	43,357,540	44,948,960

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
わくわくフェスタ	11月29日 30日	7,350人 ※入園者数	こどもの国の秋冬祭りを称してステージイベントやゲームを多数開催	・気球に乗れたのがよかった ・じゃんけん大会が楽しかった
ナイトパノラマチェア	8月9日 9月26日	296人	パノラマチェアの夜間営業	・夜のこどもの国はなかなか経験できないのでとても楽しかった、夜景がきれいだった ・子供たちがとても楽しんでいて、大人も楽しめる内容だった
稲作体験	5月11日 6月8日 7月6日 9月21日 11月2日	287人	1年を通して米作りを体験する	・田植えや稲刈りが経験できてよかった ・収穫祭でおいしいおにぎりを食べられてうれしかった
ホタル観察会	6月12日～ 16日	453人	園内で自然のままに生育しているホタルを観察する(平日予約制、金土フリー入園制)	・身近でホタルが見られてうれしかった ・ホタルがきれいだった
紙ヒコーキ教室	4月～3月 年間11回	314人	空高く飛ぶ紙ヒコーキを作って遊ぶ	・紙ヒコーキ最高！ ・教え方がとてもよかった ・よく飛ぶヒコーキができてよかった
(その他事業) ・ウインターコンサート・野鳥観察会・かなやま健康ウォーキング・金山自然散策会・ひまわり畑に種をまこう・大人の紙ヒコーキ教室・マジック&腹話術ショー・ノルディックウォーキング体験会・昔遊び&輪投げ・落書きコーナー・にこっとちゃんと写真をとろう・スターフレンド・グリーンカーテンを育てよう・カブトムシクイズラリー・落ち葉プール・アジサイWEEK(剪定・花手水づくり)・ミニかご作り・竹とんぼづくり・ぐんまおいしいもの展・母の日プレゼント・父の日プレゼント・敬老の日イベント・節分イベント・七夕に願いをかこう・サンタさんに届け！みんなでクリスマスツリーをつくろう・謎解きチャレンジ・スタンプラリー・紙ヒコーキ教室・ひょうたんクラフト・マツボックリツリーづくり・タコ作り・風車作り				

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

(実施期間)							
令和7年8月15日(金)～9月30日(火)							
(実施方法・回収率等)							
○実施方法:指定管理者による直接配布及び回収							
○回答数:339件							
(項目別回答集計)							
※小数点以下を四捨五入しているため、各項目を合計しても必ずしも100%とは限らない							
■来園者情報							
年代	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
	38%	15%	2%	17%	18%	4%	6%
職業	学生	会社員	自営業	主婦・主夫	アルバイト等	無職	その他
	51%	21%	3%	9%	8%	2%	6%
居住地	群馬県内	埼玉県	栃木県	茨城県	その他		
	60%	18%	12%	1%	10%		
交通手段	自動車	電車・バス	自転車	徒歩			
	96%	3%	1%	0%			

来園グループ	1人	家族	友人	団体
	1%	94%	5%	1%

来園頻度	初めて	年1～3回	年4～6回	月1～2回	週1～2回	ほぼ毎日
	22%	35%	27%	14%	2%	1%

目的	ウォーキング	休憩	軽スポーツ	こどもを遊ばせる	自然を楽しむ	施設利用	イベント参加	その他
	5%	5%	3%	55%	7%	17%	8%	0%

滞在時間	30分以内	1時間以内	1～2時間	2～3時間	3時間以上
	1%	5%	24%	38%	32%

■管理運営状況

	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
清掃	38%	42%	20%	1%	0%
施設整備	32%	39%	28%	1%	0%
植栽管理	41%	40%	19%	1%	0%
職員対応	59%	37%	4%	0%	0%
総合評価	47%	49%	4%	0%	0%

(利用者からの意見等)

- ・きれいで気持ちよい。スタッフの対応がよい。
- ・老朽化使用できない遊具が多かったが、修繕され遊べる場が増えた。
- ・夏場は暑いので、休憩所や涼しい場所を増やしてほしい。
- ・小さな子どもが遊べる遊具をもう少し増やしてほしい。
- ・じゃぶじゃぶ池の水が汚れていた。

(調査結果分析)

- ・ぐんまこどもの国として一定の認知度があり、近隣県からの来園者も多い。(全体の3割程度)
- ・親子連れや家族での来園が利用者の94%と大半を占めている。最も多い年齢層は9歳以下であり、低年齢の子ども連れの家族の利用が多い公園と言える。
- ・陶芸と木工を体験できるふれあい工房は、リピーターも多い。
- ・総合評価において【大変良い・良い】の合計が96%となっており、管理運営に対して概ね満足している様子がうかがえる。
- ・一方で、清掃・施設整備項目では【悪い】が2%あり、施設の経年劣化や老朽化により全体的に古くなっていることが一因と考えられる。

(調査結果への対応状況)

- ・水遊び場として「じゃぶじゃぶ池」があるほか、令和5年度から継続してウォータースライダーを設置することで、夏の遊び場の提供を行った。
- ・じゃぶじゃぶ池の清掃は週1回だが、降雨や水の汚れ具合によって臨時清掃を都度実施している。また、令和7年度から炎天下を避けた夕方からのイベント企画・実施している。
- ・レストハウス休憩舎やふれあい工房は、快適に休んでいただけるよう冷房を入れている。
- ・屋外施設が中心であるため、有料遊具の待機列のできそうな箇所やエントランスにてミスト・日よけを設置しているほか、ポイントでスポットクーラー・ミストファンなどを設置している。
- ・老朽化した遊具のうち、おもしろ自転車2台を更新した。

[参考]県対応状況

- ・令和7年度にダイナミック広場の遊具3基を、幼児も遊べる遊具に更新したほか、サイクル広場の券売機を新札対応機へ入替を行った。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

- ・引き続きダイナミック広場の遊具更新を予定しているほか、サイクル広場の券売機1台の更新を予定。
- ・繁忙期の駐車場不足に対し、有料臨時駐車場の場所を増やして来園者へ提供している。混雑日の駐車場での来園者間のトラブルの未然防止として駐車場のルールを明文化しHPや駐車場に掲載している。

注) 項目は例示であり、調査等の状況に応じて、任意様式で同様の内容を記載して構わない。

7 管理運営状況の評価（A: 優良、B: 良好、C: 要努力、D: 要改善）

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	A	施設設置目的及び指定管理業務の向上に向け、独自の創意工夫をしている。	<評価できる事項> 地域の団体と連携しながら様々な自主事業を実施しており、地域の活性化に大きく貢献している。 <改善すべき課題> 仕様書や事業計画書に基づいた定期点検を確実に実施し、安全管理を徹底すること。

（個別項目ごとの評価）

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	A
管理運営体制	A
利用者対応	A
地域貢献	A

評価項目	評価
環境問題への取組	A
安全管理への取組	B

労働条件評価の実施	無 令和4年度実施
-----------	--------------

（参考）指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	A	物価や人件費が高騰する中、組織体制の見直しや経費節減等により、支出縮減に取り組んだ。また、スタッフの接遇研修や日々の情報共有を通し、来園者への対応力向上に取り組んでいる。新たなイベント企画によりリピーターの獲得や参加者からの好評を得ることができた。
評価委員会の年度評価	A	仕様書等に基づいて立てられた事業計画どおりの成果、実績があり、加えて施設設置目的及び指定管理業務の向上に向け、独自の創意工夫をしている。

注）「個別項目ごとの評価」の評価項目は、施設及び利用の形態に応じて、選定時の審査項目、仕様書・事業計画等と整合性を持った項目を設定する。